広報 いずみ

人と自然が融和した　にぎわいある元気都市　出水市

「残したい伝統の漁法」

ケタ打瀬漁解禁(11月１日)

12
2006（平成18年）
№9

主な内容

新出水市誕生記念式典 …… 2
関東ふるさと出水会に感謝状を贈呈 …… 3
出水市文化祭を各地域で開催 …… 4～5
みんなで考えよう　行政改革！③ …… 6～7
12月４日から同10日までは人権週間です …… 8

新「出水市」の誕生を祝う

人と自然が融和した　にぎわいある元気都市　出水市

10月15日、新出水市誕生記念式典が市文化会館で行われ、県選出の国会議員や県議会議員、市民ら約700人が出席し、新市誕生を祝うとともに、さらなる発展を誓い合いました。

式典は、市立少年少女合唱団と出水中学校合唱部によるみずみずしい歌声で開幕。渋谷市長が、「新出水市は魅力あふれる地域。旧市町それぞれの歴史・文化を生かした市政運営を図ります。〝人と自然が融和した　にぎわいある元気都市　出水市〟の実現に向け皆様とともに取り組みます」と式辞を述べました。

合併功労者に対する表彰では、7人に総務大臣表彰、14人に市長特別表彰が授与されました。

上場小学校6年の吹春陽平君が、「豊かな自然を生かし、すべての人が安心して毎日の生活ができる市になってほしい」と新市へのメッセージを発表したほか、新市の産業や文化などを紹介した「きのうからあしたへ」と題したビデオの上映もありました。

元気にメッセージを読み上げる吹春君

合併功労者 総務大臣表彰

（氏名）	（旧役職名）
平原　三男	高尾野町長
吉満　重人	野田町長
近藤　順一	出水市議会議長
垣内　雄一	出水市議会議長
堀口　文治	高尾野町議会議長
松田　一俊	野田町議会議長
山田　三夫	野田町議会議長

（敬称略）

合併功労者 市長特別表彰

（氏名）	（旧役職名）
野内　清隆	高尾野町助役
大田　正隆	出水市助役
井町　直致	野田町助役
井手　正弘	出水市議会議員
上原　眞吉	高尾野町議会副議長
本城　利明	高尾野町議会副議長
山上　康徳	野田町議会副議長
小幡　重政	出水市学識経験者
滝本　俊治	出水市学識経験者
矢野　ミツ	出水市学識経験者
遠矢　一夫	高尾野町学識経験者
山元　一夫	高尾野町学識経験者
特手　祐治	野田町学識経験者
石澤　信子	野田町学識経験者

（敬称略）

関東ふるさと出水会

創立20周年の記念総会で感謝状を贈呈

「関東ふるさと出水会」（中村節会長：安原出身）は、旧出水市出身で、関東地区在住等の1千700人を超える会員の方々により組織されている会で、会員相互の親睦・交流や「ふるさと出水」の発展に寄与することを主な目的として活動されています。

例年東京で総会を開催され、今年は20回目の記念総会が10月29日、多くの会員、市や市商工関係者出席のもと盛大に開催されました。

今回の記念すべき総会にあたり、これまでの「ふるさと」の発展に対する長年のご功績に対し、「ふるさと出水」を代表して渋谷市長から感謝状が贈呈されました。

同会にはこれまで、さまざまな機会を捉えて「ふるさと出水」の発展のためにご尽力をいただいており、特に平成9年の針原土石流災害や今年7月の県北部豪雨災害時には会を挙げて支援活動をしていただき、先の豪雨災害では、会の運営費から50万円のほか、会員等から募った172万円余りもの心温まる義援金が贈られ、被災された市民の皆さんへの復興支援をしていただきました。

なお、関東には、旧高尾野町と旧野田町の出身者でそれぞれ組織されている「東京高尾野会（轟木昭俊会長：松ヶ野出身）」、「東京野田会（田代貞幸会長：町出身）」があり、それぞれふるさとに思いを寄せていただき、発展を願ってさまざまな活動を続けておられます。

秋晴れの中　名車300台集合！

第19回西日本オールドカーフェスティバルが11月3日、野田運動場で開催され、生産から20年以上経つ車や1千ccクラスのビッグバイクなど、約300台が並びました。

来場者は、エンジンルームをのぞき込んだり、オーナーの許可をもらいハンドルを握るなどして楽しんでいました。

また、当日は野田中学校1年生が中世の武者にふんし、天神（野田）公民館から熊陳馬場を通りオールドカーフェスティバルの会場まで武者行列を行いました。

郷土芸能「野田町の山田楽」も披露され会場を盛り上げました

出水市文化祭を野田・出水・高尾野の各地域で開催

◀美しい歌声が響きわたりました

▶かわいい作品も並びました

会場いっぱいに文化の薫り

新市誕生後初の文化祭が、10月28日、同29日に野田地域で、11月4日、同5日には出水地域で、また、11月11日、同12日に高尾野地域で開催されました。

各地域とも展示部門と芸能部門に分かれて開催。展示部門を各体育館等で行い、芸能発表を各農村環境改善センターや市文化会館で行いました。

芸能部門では、舞踊、太鼓、ダンス、バレエなどが発表され、各地域の団体や職場、サークルの仲間が日ごろの練習の成果を披露しました。

また、展示部門では、絵画や書道、陶芸、編み物などの様々な作品の展示のほか各流派の茶道団体が訪れた市民らにお茶を振る舞いました。

各地域、各会場とも多くの参加者、観覧者で賑わいました。

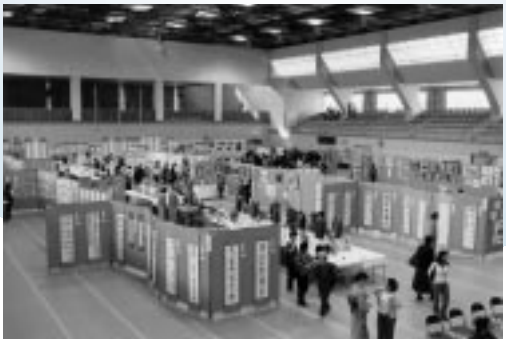
野田地域

芸能（野田農村環境改善センター）

展示（野田体育館）

出水地域

芸能（文化会館）



展示（総合体育館）

高尾野地域

芸能（高尾野農村環境改善センター）

展示（高尾野体育館）

みんなで考えよう 行政改革！ ③

行政改革に関するご意見やお問い合わせは、
本庁新市まちづくり推進課
行政改革推進係（☎㊸４０３７：直通）
にお寄せください。

現在策定している行政改革大綱って何？

人口減少時代の到来、住民ニーズの高度化・多様化など社会情勢の変化に一層適切に対応することが求められている今日、国および地方公共団体の行財政を取り巻く環境は依然として極めて厳しい状況にあります。

このような状況の中、国は、新しい視点に立って不断に行政改革に取り組み、その体制を刷新していくことが必要であるとし、各地方公共団体に新たな行政改革大綱等を策定するよう求めています。

本市にあっては、新市誕生後の現在、行政改革大綱等の策定を鋭意進めているところですが、その策定過程について速やかにホームページや広報等を通じて公表することとされているため、今回、その概要をお知らせします。

なお、広報いずみお知らせ版11月15日号でもお知らせしましたが、この行政改革大綱および行政改革実施計画については、パブリックコメント（ご意見等）を募集中です（12月12日まで）。

行政改革の基本的な考え方

1　改革の目指すもの

市民が行政の主役であることを認識し、行政の透明性の確保や情報の共有化を一層推進します。

また、市民参画により安定した行財政基盤を構築し、行政「運営」から行政「経営」への転換を図ります。

さらに、市民志向の行政サービスの提供や市民と行政が相互に連携した協働の地域づくりを実践し、『人と自然が融和した にぎわいある元気都市 出水市』の実現を目指します。

2　改革の取り組みの視点

⑴　市民視点

まちづくりの主役は市民です。顧客満足度を高めるサービスの提供に取り組むとともに、これを実現する組織や人事などの制度を見直します。

⑵　市民参画・協働

まちづくりは、行政と市民が一緒に汗をかくことで、初めて成し遂げられるものです。市民との情報の共有化を進めていくとともに、計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）の各段階で市民が主体的に参加できる制度づくりと環境整備を積極的に行い、市民と行政とがそれぞれの役割を明確にし、尊重しながら、協働によるまちづくりを進めていきます。

⑶　自主性・自立性

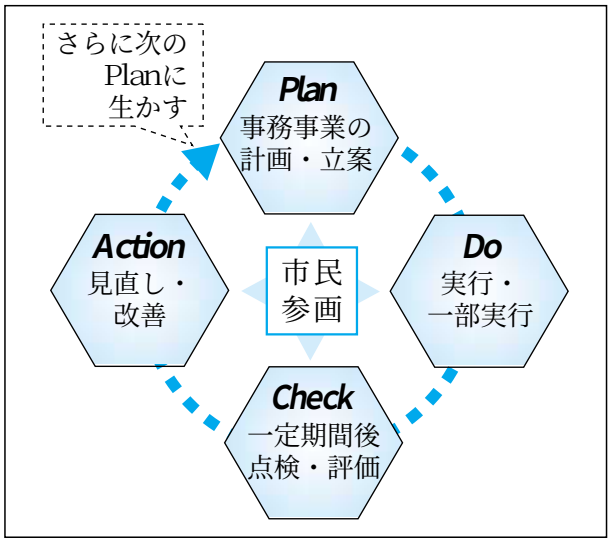
少子・高齢社会の進展とともに、安心・安全なまちづくりを推進するためには、地域住民が地域の特性を生かし、自らが考え、自ら行動することが重要となっています。

市は、この地域活動を支援すると同時に、自らも市民との連携を深め、時代の変化に迅速・的確に対応する効率的な政策企画や行財政経営に努め、自治体間競争に勝ち抜ける自立した自治体を目指します。

⑷　経営型行政運営への移行

市民本位の行政サービスを提供するために、民間の経営手法を積極的に導入し、職員の意識改革を図ります。また、市民に積極的な情報公開を行い、情報の共有化を進め、成果の重視される行政経営の実現を目指します。

ＰＤＣＡサイクルの概念図



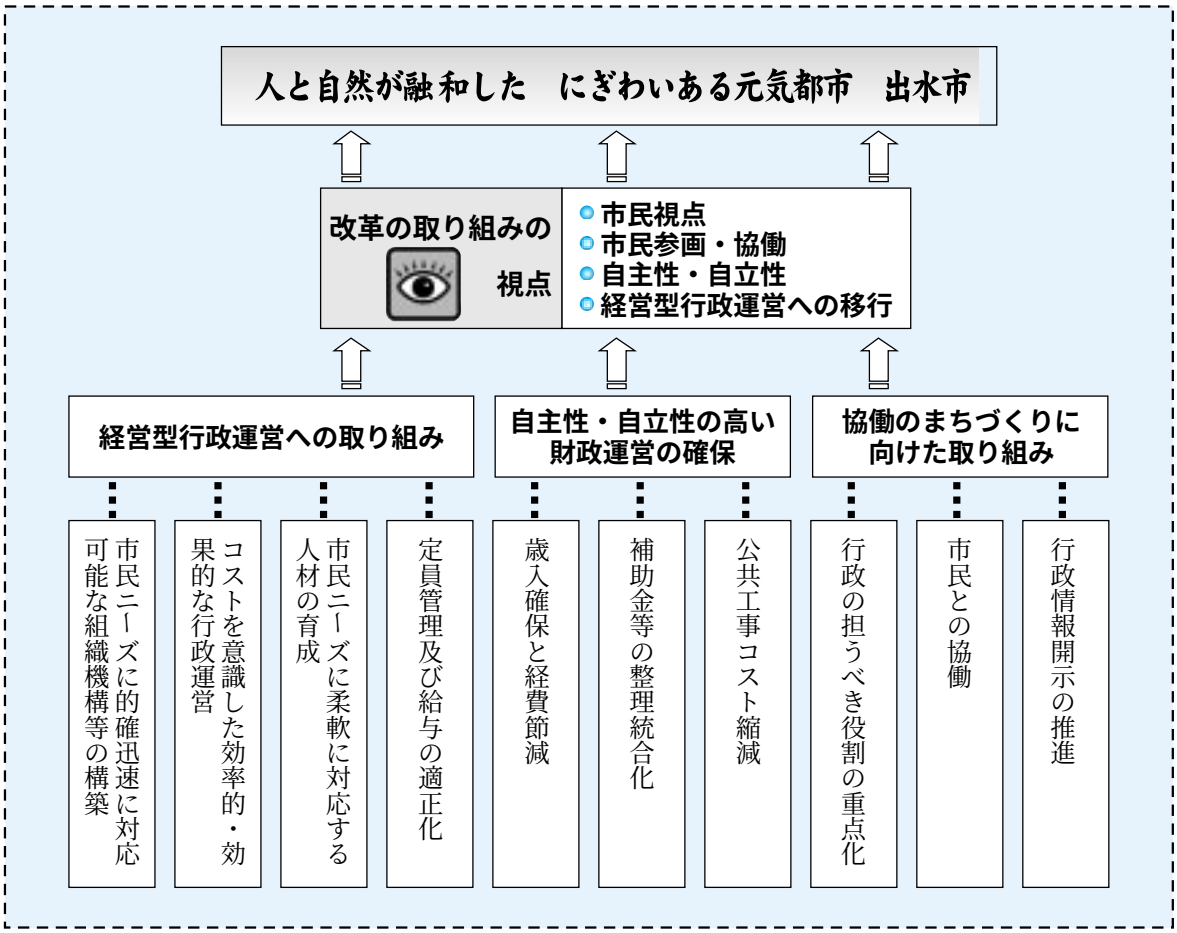
3　計画期間

本大綱の計画期間は、平成18年度から平成22年度までの5年間とします。

行政改革の取り組みの柱

大綱における行政改革への取り組みは、左記の体系図のとおり、3つの取組項目とそれらを支える10本の柱で成り立っています。10本の柱それぞれの具体的な施策については、大綱と同時に策定を進めている行政改革実施計画に明記します。

出水市行政改革施策の体系図



行政改革を推進するもの

(1)　行政改革実施計画の策定

行政改革を具体的かつ計画的に推進するため、『行政改革実施計画』を本大綱の実施計画として策定します。この実施計画には、本大綱の計画期間5年間における各年度の具体的計画を盛り込みますが、毎年度、その内容を評価し、必要な改善を行います。

(2)　集中改革プランの策定

行政改革大綱に基づき、具体的な取り組みを集中的に実施するため、左記ア～カに掲げる事項を中心に、平成18年度を起点とし、おおむね平成21年度までの具体的な取り組みを明示した『集中改革プラン』を策定し、目標の数値化、達成時期など市民に分かりやすい指標で公表します。

ア　事務事業の再編整理、廃止統合
イ　民間委託等の推進（指定管理者制度の活用を含む）
ウ　定員管理の適正化
エ　手当の総点検をはじめとする給与の適正化（給料表の運用、退職手当、特殊勤務手当等諸手当等の見直し等）
オ　地方公営企業の経営健全化
カ　経費節減等の財政効果

(3)　個別の行政改革諸計画

改革の実効性をより高めるため、左記の諸計画（名称はいずれも仮称）等も平成18年度中をめどに各所管課で策定します。

個別の行政改革諸計画

- ☞『定員適正化計画』（新市まちづくり推進課）
- ☞『組織機構改革方針』（新市まちづくり推進課）
- ☞『公の施設見直し基本方針』（新市まちづくり推進課）
- ☞『指定管理者移行計画』（新市まちづくり推進課）
- ☞『人材育成基本方針』（総務課）
- ☞『パブリックコメント手続』（企画調整課）　※既に実施中
- ☞『財政改革プログラム５カ年計画』（財政課）

※（　）内は所管課を表しています。

次号では、行政改革実施計画について、お知らせする予定です。

第58回人権週間

育てよう 一人一人の 人権意識

―思いやりの心・かけがえのない命を大切に―

12月４日から同10日までは人権週間です！

「世界人権宣言」は基本的人権および自由を遵守し確保するために、昭和23年12月10日の国際連合総会で採択されました。

これを記念して国際連合は、12月10日を「人権デー」と定め、すべての加入国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するように要請しています。

法務省と全国人権擁護委員連合会では、12月４日から同10日までを「人権週間」として広く国民に呼び掛け、人権意識の普及高揚を図っています。

鹿児島県人権啓発キャラクター

今回の人権週間では、次の15項目を強調事項に掲げています。

◆強調事項◆

◎女性の人権を守ろう
◎子どもの人権を守ろう
◎高齢者を大切にする心を育てよう
◎障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
◎部落差別をなくそう
◎アイヌの人々に対する理解を深めよう
◎外国人の人権を尊重しよう
◎ＨＩＶ感染者等に対する偏見をなくそう
◎刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
◎犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
◎インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
◎性的指向を理由とする差別をなくそう
◎ホームレスに対する偏見をなくそう
◎性同一性障害を理由とする差別をなくそう
◎北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう

［特設人権相談］

家族間の問題や相続・財産の問題、差別・いじめ問題などでお悩みの方は、この機会にご相談ください。相談料は無料で、秘密は厳守されます。

日　時　12月５日(火)午前10時から午後３時まで

場　所
▼市中央公民館
▼高尾野農村環境改善センター
▼野田老人福祉センター

［人権擁護委員］

本市では、次の方々が人権擁護委員として活動されており、特設人権相談日以外でも相談に応じています(敬称略)。

池田博芳、番家幸市、肱岡彰子、荒木妙子、椎原京子、畠中大喜、小島政幸、東畠政子、中里洋子、川畑純義

問い合わせ先
▽本庁市民課市民生活係(☎㊸４０４２：直通)
▽高尾野支所市民生活課市民生活係(☎㊷５４１４：直通)
▽野田支所市民福祉課市民生活係(☎㊹４８１３：直通)
▽市中央公民館内社会教育課(☎㊸２１０６)

［県下一斉電話相談］

家庭内のもめごとや隣近所とのトラブル、いじめや差別など、悩みや困りごとがあったら、お気軽にご相談ください。秘密は厳守されます。

日　時　12月10日(日)午前10時から午後５時まで

電話番号
０５７０－７００７８３
(ナビダイヤル)
※ＰＨＳ・ＩＰ電話からは接続できません。

▽**鹿児島地方法務局**
▽**鹿児島県人権擁護委員連合会**

12月10日(日)から同16日(土)までは「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です

平成18年６月に、北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮当局による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止を図ることを目的として、「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行されました。

水道使用量の繰り上げ検針を行います

水道課では、毎月1日から水道使用量の検針を行っていますが、1月は、1日から3日まで休業となります。このため、一部の地域では、12月27日(水)から同29日(金)までの間に繰り上げて行います。ご協力をお願いします。

問い合わせ先
▽本庁水道課業務係
(☎㊸4082：直通)
▽高尾野支所水道課
(☎㊷5453：直通)
▽野田支所水道課
(☎㊹4823：直通)

障害者控除対象者の認定基準

所得税や市・県民税の障害者控除については、障害者手帳等をお持ちの方は申告時に手帳を提示することにより控除を受けられますが、障害者手帳をお持ちでない65歳以上の方でも、**一定の基準を満たす方**については、「障害者控除対象者認定書」を提示することで、控除を受けることができます。

認定書は、市に申請していただき、審査基準を満たした方に交付されます。

対象者
◎介護保険法に基づく要介護認定を受けている方で、寝たきりや準寝たきりの方
◎障害の程度が障害手帳保持者に準じる方

問い合わせ先
▽本庁社会福祉課高齢者福祉係(☎㊸4046：直通)
▽高尾野支所保健福祉課福祉係(☎㊷5422：直通)
▽野田支所市民福祉課福祉係
(☎㊹4815：直通)

出水市病院事業在り方検討委員会を開催しています

本市病院事業は、市町合併に伴い、3つの公立病院が存立することになりました。

検討委員会では、今後3医療センターが市民の健康増進に貢献するためには、どのような医療体制であるべきかなどが検討されます。

10月から月1回ずつのペースで開催され、今後は12月25日(月)、1月31日(水)、2月26日(月)、3月27日(火)、いずれも午後2時から出水総合医療センターの2階講堂で開催される予定です。

委員会は公開していますので、傍聴することができます。

問い合わせ先　出水総合医療センター(☎㊼1611)

水俣病総合対策医療事業(新保健手帳)の申請を受け付け

県では、昨年10月から水俣病総合対策医療事業に関する保健手帳の申請を受け付けています。

申請者　本人(代理人の申請も可)

申請書類の配布・提出先
県庁環境政策課
本庁保健環境課予防係

申請費用　無料(添付書類作成に関する費用は自己負担となります。)

問い合わせ先
▽県庁環境政策課(☎099－286－2584)
▽本庁保健環境課予防係
(☎㊸4043：直通)

税務課からのお知らせ

12月は、給与等に係る源泉所得税の年末調整の月です。

大部分の給与所得者は、年末調整により、その年の納税を完了することになりますので、勤務先に扶養親族や保険料などの申告を正しく行うことが大切です。

年の途中で結婚や就職、出産などにより扶養親族に異動があった方は、扶養控除等申告書の変更が必要ですのでご注意ください。

問い合わせ先
出水税務署法人課税部門(☎㊷0171)

平成18年度冬の自然まつり「正月を手作りで！」

～家族や友達と一緒に青年の家の冬を楽しもう～

日　時　12月24日(日)午前9時～正午
(午前8時30分から受け付け)

場　所　市青年の家(つどいの広場・本館)
※雨天時は屋内で実施します。

対象者　家族、友達同士などのグループ
(小学3年生以下は保護者同伴)

内容および定員
自然の素材を使った創作活動
●ミニ門松コース(40組)
◆しめ縄コース(25組)
▼こまコース(25組)
★正月の遊びコーナー(申し込みの必要はありません。)

持ってくるもの(準備可能な人のみ)
●ミニ門松コース…竹用のこぎり、せん定ばさみ
◆しめ縄コース……はさみ

参加料　1人100円

申し込み方法
12月15日(金)までに、市青年の家に電話またはファックスでお申し込みください。

問い合わせ先
市青年の家(☎㊸2135、FAX㊷9417)

児童クラブの会員を募集

市では、平成19年度の児童クラブ会員を募集します。

◎障害児児童クラブ（児童クラブまなづる）

対象者 養護学校および小・中学校特殊学級に在学する児童・生徒

募集人員 20人

◎その他の児童クラブ

対象者 出水、西出水、東出水、米ノ津、米ノ津東、高尾野、下水流、野田の各小学校に在学する1年生から3年生の児童のうち、保護者が仕事等により昼間、家庭にいない者

募集人員 西出水および米ノ津東は各40人、野田は25人、それ以外は各35人

受付期間 1月4日(木)から同17日(水)まで(土曜・日曜日、祝日は除きます。)

申し込み方法 本庁・各支所の担当係または各児童クラブにある所定の申込書に記入の上、本庁・各支所の担当係に提出してください。なお、現会員は各児童クラブに提出してください。

問い合わせ先
▽本庁社会福祉課児童福祉係（☎㊸4047：直通）
▽高尾野支所保健福祉課福祉係（☎㊷5422：直通）
▽野田支所市民福祉課福祉係（☎㊹4815：直通）

◆児童クラブの概要

名称	場所	時間	会費等		
				平日のみ（月額）	土曜日含む（月額）
出水 東出水 米ノ津 高尾野 出ノ尾 野田	各小学校・幼稚園の空き教室	①平日（月曜日から金曜日まで）→下校時から午後6時まで ②学校休業日（日曜日・祝日を除く土曜日等）→午前8時30分から午後6時まで	8月以外の月	3,400円	4,900円
西出水 米ノ津東 下水流	専用のクラブ室		8月	7,200円	8,700円
まなづる			夏休み期間のみ	10,000円	11,900円
			※上記のほか、傷害保険料、おやつ代等		

幼稚園児を募集

平成19年度の市立幼稚園の園児を募集します。

対象者
◎入園日に市内に住所がある幼児
◎平成13年4月2日から同16年4月1日までの出生児

申し込み方法 各幼稚園および本庁学校教育課、各教育支所に備え付けの申込書（12月8日から配布）に必要事項を記入の上、希望する幼稚園に直接提出してください。

受付期間 12月11日(月)から同20日(水)まで(土曜・日曜日は除きます。)

申込書配布・受付時間 各幼稚園とも、午後2時30分から同5時まで

各幼稚園の募集予定人員

市立幼稚園	募集予定人員	電話番号
西出水小附属紫翠幼稚園	58人	㊸2158
東出水小附属幼稚園	26人	㊸2163
米ノ津小附属幼稚園	17人	㊼2938
米ノ津東小附属幼稚園	67人	㊼1023
切通小附属幼稚園	30人	㊼2919
荘小附属幼稚園	27人	㊷3670
野田小附属幼稚園	73人	㊹2067

問い合わせ先
各幼稚園または本庁学校教育課（☎㊸4079：直通）

「子ども読書活動推進計画」づくりの協力者を募集

市教育委員会では、子どもの読書活動推進のための計画づくりをお手伝いいただける方を募集しています。この計画は子ども（乳幼児から高校生まで）の読書活動を活発にしていこうとするものです。

計画はいろいろな立場の関係者で話し合ってつくりあげる予定で、この関係者の一部として5人の方に協力をお願いするものです。

話し合い内容と人員数
①計画（案）を準備するための話し合い・・・・・3人
②準備された計画（案）の最終決定のための話し合い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2人

話し合いの時期
平成19年1月から2月にかけて行います。

対象者《次の条件を満たす方》
◎本が好きで子どもの読書活動に関心がある方
◎子育ての経験がある市内在住の方

申し込み方法
任意の用紙に次の事項を記入して、市立中央図書館にお届けください（ファックスも可）。
●住所および連絡先（電話番号）　●氏名
●年齢　●性別　●応募の動機（400字程度）
●略歴（職業や市民活動など）
●話し合い内容の希望

申込期限
12月20日（水）
※申込者が多数の場合、申込書類で選考させていただきます。ご了承ください。

申込・問い合わせ先
出水市立中央図書館
〒899－0205　出水市本町3番14号
（☎㊸2105、FAX㊷9439）

国の教育ローンのご案内

国民生活金融公庫では、教育に関する家庭の経済負担の軽減と教育の機会均等を図る国の施策の一環として公的な融資制度である「国の教育ローン」を扱っています。

ご利用いただける方
融資の対象となる学校に入学・在学される方の保護者で、世帯の年間収入が給与所得者については990万円以内、事業所得者については770万円以内の方

使いみち 学校に入学・在学するために必要な資金
※学校納付金(入学金、授業料)、アパートの家賃、教科書代、通学費用など

融資額 学生・生徒1人につき200万円以内

利率 2.3パーセント

返済期間 10年以内(交通遺児家庭または母子家庭の方については1年の延長が可能です。)

据え置き期間 在学期間内で元金の返済を据え置くことができます(利息のみの返済となります)。

保証 (財)教育資金融資保証基金または連帯保証人(1人以上)

問い合わせ先
国民生活金融公庫川内支店融資相談係(☎0996－20－2191)

商店街の空き店舗で事業を始めてみませんか?

市では、起業家の育成、または新規創業者の支援のために、商店街の空き店舗を利用して商業等の事業を開始される方に、家賃の2分の1(限度額5万円／月)を1年間助成する「空き店舗再開事業奨励金交付事業」を実施しています。

助成の要件
▼市内の空き店舗で、所有者から直接賃貸すること
▼1年以上継続して営業すること
▼昼間中心の事業を営むこと
▼「風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律」に規定する風俗営業以外の業務を営むこと
▼市税等を滞納していないこと　など

問い合わせ先
▽本庁商工観光課商工労政係(☎63－4059：直通)
▽出水商工会議所(☎62－1337)
▽鶴の町商工会(☎82－1065)

平成18年度 出水音楽祭を開催

日時 12月17日(日)　午後1時
場所 市文化会館
入場料 無　料
出演団体 オレンジ・メロディ、コールのだ、LITTLE STARS、コールメイプル、クレインコーラス、出水ストリングスアンサンブル、市民バンドいずみ、合唱団オーク、アンサンブルA・gain、混声合唱団ソナーレ、コールひだまり、Hブラス、コール出水、コンセールグラッシュ・グランドオーケストラ、東出水小学校吹奏楽部、西出水小学校マーチングバンド、米ノ津中学校吹奏楽部、大川内中学校器楽部、出水中央高等学校吹奏楽部、出水市立少年少女合唱団／(順不同)
問い合わせ先 市中央公民館内社会教育課(☎63－2106)

防災情報、不審者情報、イベント情報をメールで配信中

本市では、1人でも多くの市民の皆さんに行政情報を知っていただくために、電子メールを利用した「出水市メールマガジン配信サービス」を実施しています。

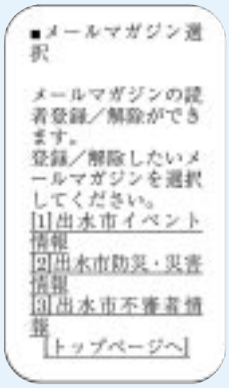
現在、**“出水市イベント情報”、“出水市防災・災害情報”、“出水市不審者情報”**の3種類のメールマガジンを配信しています。

メール配信を希望される方は、携帯電話またはパソコンで本市ホームページから希望するメールマガジンにメールアドレスの登録を行ってください。

●登録は無料ですが、メール送受信にかかる費用は登録された方の負担となります。
●インターネットを利用したサービスのため、諸事情により着信が遅れたり、メールが届かないことがありますのでご了承ください。
●収集したメールアドレスは、当メール配信サービス以外の目的では使用しません。
●迷惑メールの防止のために指定受信／拒否等の設定をされている場合は、メールが届きませんので必要な措置をお願いします。

パソコンからの申し込み画面

携帯電話からの申し込み画面



問い合わせ先 本庁情報管理課情報管理係(☎63－4035：直通)

国民年金情報

12月生まれの方から、現況届の提出が原則不要となります

これまで年金受給者の方には、毎年1回、誕生月に現況届を提出していただいていましたが、住民基本台帳ネットワークシステムの活用により、12月生まれの方から現況届の提出が不要となりました。

◆今後も現況届の提出が必要な方

住民基本台帳ネットワークシステムで現況確認ができない方については、今後も現況届の提出が必要です。

《例えば》

◎社会保険庁で保有している本人基本情報（氏名・性別・生年月日・住所）と住民基本台帳ネットワークシステムの情報が相違し、住民票コードを確認できない方。

※該当者には、随時、社会保険庁から住民票コードを確認できなかった旨のお知らせが送付されます。

◎外国籍（外国人登録）の方

◎外国に居住している方

◆加給年金額対象者の生計維持確認や診断書等の提出は、引き続き必要です

加給年金額を受けられるかどうか生計維持の確認が必要な方は、社会保険庁から送付される「生計維持確認届」が、また、障害の程度の確認が必要な方は、社会保険庁から送付される診断書の提出が引き続き必要です。

保険料の納め忘れはありませんか？

社会保険庁では国民年金保険料の強制徴収を実施しています。

20歳以上60歳未満の方は、国民年金保険料を納付することが義務づけられており、本人、配偶者および世帯主には、連帯して納付する義務が課せられています。無年金者が多くなると、世代間扶養を行う基礎年金制度の根幹を揺るがすおそれがあります。

度重なる催告にもかかわらず保険料を納めない方に対しては、納めている方との不公平をなくすため、**法律に基づき財産の差し押さえ（強制徴収）**を行っています。今年度は、さらに強化される予定ですので、もう一度納め忘れがないかご確認ください。

出水地区年金相談所を開設

相談日　12月12日（火）

時　間　午前10時から午後3時まで

場　所　高尾野支所会議室

内　容　国民年金・厚生年金の手続き等

相談員　川内社会保険事務所職員

問い合わせ先

▽本庁市民課国民年金係（☎㊸4039：直通）

▽高尾野支所市民生活課保険年金係（☎㊷5416：直通）

▽野田支所市民福祉課保険年金係（☎㊹4814：直通）

知ってててよかった！

消費生活情報

気を付けよう 霊感商法・開運商法

「よく当たる先生を連れてきた。無料で姓名判断をしてあげる」と言って家の中に上がり込み、その後長時間にわたって「災いを招く印相だ」、「息子が早死にする」などと不安をあおり、「これを作れば神様が守ってくれる」、「独身の息子に良縁がある」と言って、高額な印鑑を売りつけられたという被害が出ています。

これは霊感商法・開運商法と言われる悪質商法の一つで、無料とか手ごろな相談料をうたって近づきます。

この事例のほかに、「家相が悪い」、「先祖のたたりがある」、「家族が病気になる」など人の不安や信仰心に付け込み、「災いを逃れる」、「運が開ける」などと言って、つぼ・念珠・水晶・多宝塔・アクセサリーなどの商品を売りつけたり、供養・除霊・祈とうを押し売りしたりするものがあります。

非科学的・宗教的な商品だけに、販売価格は高額なものが多く、ひどい場合には何百万円・何千万円単位に及ぶこともあります。さらに一度応じると次々と別の商品を売りつけられる可能性もあるので注意が必要です。

調べようのない霊やたたりを持ち出され、巧みな話術によって、迷信と思っている人でも簡単にだまされてしまいます。不審な場合は、最初から話を聞かない方が賢明です。即決することは避け、友人や相談所に相談しましょう。

※消費生活に関するトラブルは、本庁市民課市民生活係（☎㊸4042：直通）にご相談ください。また、そのほかの消費生活に関する相談も受け付けています。

こんにちは保健師です 8

食生活を見直しましょう

食事は、毎日欠かせない大切なものです。単に体に必要な栄養素をとるということだけではなく、心にも満足感を与えてくれます。1日の中でも食事の時間を大切にし、心身ともに満足できる食習慣をつくりましょう。

また、食生活を見直すことは生活習慣病を予防し、健康に過ごすための基本にもなります。最近の食生活に関する調査では、朝食の欠食、野菜の摂取不足、脂質摂取の増加等食生活の乱れや30歳以上の男性の肥満、若い女性の低体重が心配されています。

まず自分の食生活を振り返り、できるところから少しずつ改善していきましょう。

◆振り返るポイント◆

食事を楽しんでいますか？

◎心も体も満足できる環境づくりを（家族そろっての食事、ゆっくり味わって食べる時間的な余裕など）

食事のリズムを大切にしていますか？

◎1日3回規則的に食事を

◎夜食や間食はほどほどに

食事のバランスを考えていますか？

◎主食（ごはん・パン等）＋主菜（肉類・魚介類・卵等）＋副菜（野菜・根菜・海藻・きのこ等）＋汁物（1日1～2杯）の組み合わせが基本

◎牛乳や乳製品も十分に

薄味に心掛けていますか？

◎食塩は1日10グラム以下を目安に

◎しょうゆの代わりに、レモンや酢の利用を

自分の身体活動量に合った食事の量ですか？

◎早食いせず、よくかんで腹八分目に

◎体重のチェックも忘れずに

図書館だより

「図書館のつどい」を開催します

おはなしやうたなどで、楽しい時間をすごしませんか？

日　時　12月23日（土）　午前10時～正午
場　所　中央図書館　研修室

※当日は図書館の本の貸し出しはできません。

新しい本の紹介（予定）

《幼児・小学生》

▼忘れても好きだよ　おばあちゃん！（ダグマー・H・ミュラー）▼いいから　いいから（長谷川義史）▼おじさんあそびましょ（長新太）▼サンタクロースのふくろのなか（安野光雅）▼うちのママってすてきなの（アンソニー・ブラウン）▼ちびくまのプレゼント（キャサリン・アリソン）▼ともだち　おまじない　おれたち、ともだち！（内田麟太郎）▼もりのてがみ（片山令子）▼ねぎぼうずのあさたろう（飯野和好）…等

《小学生・中学生》

▼魔女になりたいティファニーと奇妙な仲間たち（テリー・プラチェット）▼旅するヤギはバラードを歌う（ジャン・クロード・ムルルヴァ）▼ゆきのしたのなまえ（クロード・マルタンゲ）▼アマチェム星のセーメ（ロベルト・ピウミーニ）…等

《高校生・一般》

▼美丘（石田衣良）▼養老院より大学院　学び直しのススメ（内館牧子）▼リミックス（藤田宜永）▼おんぶにだっこ（さくらももこ）▼海（小川洋子）▼東京公園（小路幸也）▼百万遍　古都恋情（花村萬月）▼どれくらいの愛情（白石一文）▼建築探偵桜井京介　館を行く（篠田真由美）▼われら猫の子（星野智幸）▼サルビアの記憶（海老沢泰久）▼双六で東海道（丸谷才一）▼中原の虹　二（浅田次郎）▼「伝える言葉」プラス（大江健三郎）▼華の棺（西村京太郎）▼還らざる道（内田康夫）▼奇謀　真田幸村の遺言（鳥羽亮）▼冬至祭（清水義範）▼水辺にて（梨木香歩）▼奸婦にあらず（諸田玲子）▼タルドンネ　月の町（岩井志麻子）…等

【読み聞かせ】

中央図書館
毎週水曜日午後4時

高尾野図書館
毎週月曜日午後4時

野田図書館
毎週木曜日午後4時

【親子読書教室・すくすく】

高尾野図書館
第2・第4火曜日
午前10時30分

【成人読書会・いもつる】

高尾野図書館
第4月曜日午前10時

	開館時間	12月の休館日
中央図書館（☎63-2105）	平日　午前9時～午後8時 土曜・日曜日　午前9時～午後6時	4日、11日、18日、23日、25日、29日、30日、31日
高尾野図書館（☎82-5452）	午前9時～午後6時	7日、14日、21日、28日、29日、30日、31日
野田図書館（☎84-3100）	午前9時～午後6時	1日、8日、15日、22日、23日、29日、30日、31日

高原の秋 バーベキューで満喫

上場地区の畜産農家と地区外の市民らとの交流イベント「バーベキューIN上場高原」が10月9日、上場小学校の校庭で開かれました。

このイベントは、上場地区畜産振興会（前田正道会長）が消費者との交流や牛肉・牛乳の消費拡大を目的に企画。毎年コスモスが満開となるこの時期に実施しています。

23回目となった今回は、市民ら約400人が参加。同地区で生産された牛肉や野菜、搾り立ての牛乳に舌鼓を打っていました。

出水の特産品などが当たる抽選会もあり、参加者は高原の秋を満喫していました。

ツル羽数調査を打ち合わせ

10月20日、荘中学校ツルクラブの部室「飛翔館」で、出水平野で越冬するツルの羽数調査打ち合わせ会が行われました。

会には、同校ツルクラブと高尾野中学校ツルクラブの代表および関係者ら24人が出席し、調査方法や日程を確認しました。

荘中学校3年の島﨑一輝部長は、「的確な調査をして、10季連続の万羽ヅルになれば」と話し、高尾野中学校3年の川俣愛さんは、「最後まで責任を持ってやり通したい」と話しました。

羽数調査は、11月11日から来年1月まで計6回実施。最も多かった羽数を今季の渡来数として県ツル保護会が確定します。

1日駅長を体験

10月15日、鉄道の日（同14日）にちなみ、本市のJR九州、肥薩おれんじ鉄道の両出水駅で「鉄道の日大感謝祭in出水」が開催されました。

イベントでは、おれんじ鉄道出水車両基地の見学やNゲージトレインの展示走行などが行われ、多くの来場者が楽しんでいました。

また、出水保育園の園児、森明日夏ちゃんと石元武瑠くんがJR1日駅長を務め、新幹線つばめに出発合図を送る大役を果たしました。

Nゲージトレインの展示走行

読書の秋 本に親しむ

読書に親しむ機会をつくろうと「読書ひろば」が10月22日、高尾野農村環境改善センターで開催されました。

子どもから大人まで約250人の参加者は、学校や地域の読書グループによる手作りの紙芝居やブラックシアター、寸劇、歌あそびなどを楽しみました。

また、加治木町の読書グループによる人形劇ワンポイント講座や影絵もありました。

友達と来ていた下水流小学校4年の篠原千春さんは、「影絵が楽しかった。読書は大好きです」と笑顔で話していました。

上場高原を歩こう

10月８日、上場地区で、平成18年度新出水市発足記念事業史跡めぐり歩こう大会が開催されました。

この大会は、市内の史跡を歩いて訪ね、郷土の歴史と文化を学び、健康増進を図ろうと毎年開催。110人の参加者は、見ごろを迎えたコスモスも楽しみながら、気持ちよく歩きました。

県ツル保護会が総会を開催

鹿児島県ツル保護会の総会が10月６日、ツル博物館クレインパークいずみで開かれました。

新出水市になったことにより同会の組織が再編され、会長に渋谷市長が着任しました。今年度の事業として、ツル保護対策の研究、ツルの生態調査など６項目の事業計画が可決されました。

グラウンドゴルフで楽しく交流

10月12日、第６回肥薩おれんじ鉄道利用グラウンドゴルフ大会が開催され、沿線市の64チームが参加し、日ごろ鍛えた腕を競い合うとともに沿線市間の交流が図られました。

《優勝》団体の部：今釜町ＧＧクラブ
個人の部：瀬戸口栄子（今釜町ＧＧクラブ）

大銀杏に別れ

はさみを入れる渋谷市長

今年５月の夏場所で現役を引退した大相撲の“隆の鶴親方（元幕内隆の鶴：早馬出身）”の断髪式が10月９日、東京都内のホテルで行われました。

式には関係者ら約470人が出席。渋谷市長をはじめ約150人がはさみを入れ、最後に師匠の鳴戸親方が大銀杏（おおいちょう）を切り落としました。

手作りの竹ぼうきを寄贈

10月20日、馬籠和夫さん（芭蕉）が市内の小学校で使ってほしいと、手作りの竹ぼうき100本を市教育委員会に寄贈しました。

馬籠さんは、「ちょうど落ち葉の季節に間に合いました。掃除で使ってもらい、きれいな環境で勉強してほしい」と話していました。

おやじの会が防犯パトロール

今年９月に発足した高尾野小学校「おやじの会（山口裕和会長）」13人による防犯パトロール隊の出発式が10月17日、同校で行われました。

全校児童が見守る中、パトカーを先頭に青色回転灯をつけた同会の“青パト”が出発。登下校を中心に会員が交代で巡回し、児童の安全を守ります。

空き店舗を憩いの場に

中町（出水）商店街に10月30日、「さわやか出水　来て喜て　サロン」がオープンしました。

これは、市内の女性団体「さわやか出水女性の集い（矢野ミツ会長）」が、子どもから大人までの異年齢の交流と商店街の活性化を目的に、同商店街の空き店舗を利用してオープンしたものです。

サロンでは、農産物、リサイクル品などの販売のほか、有資格者による茶道、英会話、手話教室も開催。土曜・日曜日には、フリーマーケットも開催されます。

矢野会長は、「年齢を問わず、皆さんに楽しい憩いの場として利用してほしい」と話していました。

飲酒運転撲滅を宣言！

飲酒運転をなくそうと11月2日、出水公会堂で飲酒運転撲滅運動決起大会が開催されました。

出水商工会議所が市内の各種団体や事業所などに呼びかけて行われ、34団体約350人が参加しました。

大会では、鹿児島いずみ農協の川原慎太郎さんが、「相互に戒め合い、悪習を一掃する地域社会を目指そう」と宣言文を読み上げました。

集会後は、〝STOP飲酒運転〟などと書かれたチラシやティッシュを市民に配りながら、公会堂から川端通り、本町商店街を通り、出水駅までの約2キロをパレードしました。

商業デパート、大盛況！

11月3日、出水商業高校で「出水商業デパート」が開かれました。

これは、生徒が仕入れから、経理までを担当し、買い物客と接することで販売の技術や接客マナーを学んでもらおうと、文化祭行事のひとつとして行っているものです。

体育館では、食料品、衣料品、観葉植物のほか、電化製品や県内専門高校生産加工品などを販売。また、校庭では、車も販売しました。

スポーツコーナーを担当した、中尾洋夢さん（2年）は、「思っていたより、お客さんも多く、売れ行きが良かったのでホッとしました。良い経験になりました」と話していました。

「山ん神」開店4周年記念イベントを開催

大久保地区村づくり物産直売所「山ん神（かん）」では、開店4周年を記念して11月4日、5日の2日間、感謝セールが実施されました。

店頭には、会員から出品された野菜、花の苗、植木、海産物などが所狭しと並べられ、晴天にも恵まれ、特別価格とあって家族連れなど多くの人で賑わいました。

店内には、大久保保育園の園児が描いた野菜や果物の絵も飾られました。

4日にはオークションも開かれ、日用品や農機具など、さまざまな物が出品され、参加者の掛け声と笑い声に包まれました。

九州大会で優勝

賞状を手にする荒木さん（右）

10月21日、22日に宮崎県で開催された「第34回九州視覚障害者サウンドテーブルテニス大会」に、荒木國吉さん（名古東）が鹿児島県代表として参加されました。

荒木さんは、個人戦の全盲男子の部で優勝。また、団体の部でも優勝されました。

ツル休遊地借り上げ確約書に調印

10月20日、鹿児島県ツル保護会（会長・渋谷市長）とツル休遊地地権者会（尾野島平会長）との平成18年度ツル休遊地借り上げ確約書の調印式が、市長室で行われました。

借り上げ料は10㌃当たり４万円とすることで合意。12年連続の据え置きとなりました。

もてなしの心で接しましょう

10月25日、観光関係の従事者を対象とした観光アカデミー接遇研修が、本庁大会議室で開かれました。

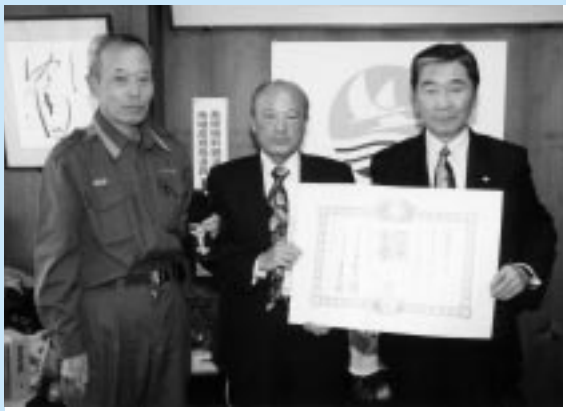
この研修は、出水市もてなしの心育成協議会（茂原真琴会長）が、観光客に対する接遇の基本など身につけてもらおうと毎年行っているもので、今年は、22団体、約80人の参加がありました。

麓武家屋敷群をきれいに

10月23日、出水小学校の全校児童が出水麓武家屋敷群の清掃を行いました。

地域の方々と協力して清掃し、環境美化の意識を高め、校区内にある武家屋敷群を大切にすることを目的に毎年行われている学校行事のひとつです。

危険業務従事者叙勲を受章



11月６日、危険業務従事者叙勲を受章された元出水消防署長の武田勲さんが市長室を訪れました。

危険業務従事者叙勲は、春秋の叙勲とは別に、現場で危険な業務に精励された方を対象とするもので、武田さんの受章は、永年、消防業務に尽力された功績によるものです。

優勝屋地・旭チーム

11月５日、第１回野田郷大運動会が盛大に行われました。11の地区に編成され、綱引きや夫婦相和し（夫婦での二人三脚）、地区対抗リレーなどに多くの地域住民が参加し、熱戦が繰り広げられました。

優勝：屋地・旭チーム、**準優勝**：瀬戸・中郡チーム
３位：熊陳チーム、**躍進賞**：屋地・旭チーム

お誕生おめでとうございます

（出生児）（保護者）

上野航（司）
荒川博（勝博）
山田慶翔（隆之）
井幕匠海（充彦）
坂口美遥（雅彦）
前田悠貴（忠博・美貴）
齊藤幸仁（靖幸）
外園太陽（雄一）
飛永大維（雄一郎）
田中岬（健）
松田颯太朗（毅）
樋渡叶（大輔）
山口翔太（貴光）
小田晴斗（寿一）
梅園真吾（修永）
北野秋華（祥司）
江川野佑娃（充司）
池嵜竣太（幸太）
緒方佑弥（直幸）
宇都智瑛（達郎）
脇田大我（啓伸）
戸高彩空（慎一郎）
龍本一刀（和生）
住吉威皇（卓郎）
神園駿羽（誉嗣紀）
原村紅太（孝太郎）
田口和暖（力也）
岩本泰羽（圭介）
林悠斗（徹哉）
濵田優智（和也）
赤塚瑠衣奈（拓哉）

平澤紅葉（和家）
山﨑佳乃（貴志）
窪田美里（敏彦）
西薗愛羅（秀人）
元島知子（秀人）
上脇凌（誠也）
田中星凪（晋也）
江川経悟（伸弥）
常田心愛（裕樹）
吉村日向（伸一郎）
深谷智樹（博幸）
口ノ町寧音（亨）
岩井結愛（優一）
笠置美優（孝淳）
山本彩純（耕司）
水谷星（伸）
松下香凛（和矩）
大瀧くるみ（英一郎）
久富彩絢（次郎）
山崎愛里（康平）
村野彩花（敬助）
立山空（雅浩）
平嵜優恵（祐樹）
高木愛英（真一）
蓑田純麗（和明）
花田梨音（武）

（10月3日～11月6日届け出分）

ごめい福をお祈りします

（死亡者）（年齢）（住所）

川元キヨ 89 政所
兒島末春 82 仮屋
元村アイ 93 出水の里
原田静夫 75 千間山

岩下澄江 64 天神（出水）
岡部玲子 68 新町
橋口トキワ 86 山崎
畠添秀義 82 朝日町
柳ミツヱ 79 関外
塚本ヤミ子 77 中川
松下定藏 87 本町（野田）
肝付榮 80 上水流
越牟田正人 85 表郷西
中村實 73 北星園
大石フヂ子 81 出水の里
本戸繁 87 松尾
石田ハツヱ 90 哭野原出水
鬼塚壽美子 76 麓
浦窪住義 83 柳ケ水
戸﨑武夫 82 渡瀬口
武本範夫 73 上中
長瀬秀雄 63 大丸
切通保 74 渡瀬口
長野一男 52 上竪馬場
肱黒マス 92 江川野
竹之下良治 90 石坂（出水）
西園實義 85 上松
池田良春 78 表郷東
赤城文保 77 太田原住宅
村原貞孝 65 上屋
中野章 50 表郷東
先崎チカ 76 中里
森田登美子 78 春町
山門繁 77 春日町
梅島喬樹 82 政所
村井徹也 69 中央団地
山口ハル子 74 上の原・高尾野
宮野光憲 90 西辺田
奈良フミ 93 早馬
鍬光清俊 59 六月田中

小野榮子 69 麓
段原清春 94 内野々下
田中ミサオ 88 沖田
清水マツヱ 92 西水流
湯田敬子 60 西下り松
境原マツ子 75 築港
豊貴犬太郎 79 新町
山下英昭 52 蕨島
吉田チヨ子 83 沖田
末野三次郎 103 上水流
川畑スミ 86 鹿島住宅
宮田美智 75 表郷東
花木榮美子 84 潟

（10月3日～11月6日届け出分）

ご寄付ありがとうございました

香典返し寄付〈敬称略〉

長井久美子（政所）
兒島一郎（仮屋）
原田勝徳（千間山）
岡部英一郎（新町）
岩下義丸（天神・出水）
柳賢明（関外）
塚本栄治（中川）
越牟田純（表郷西）
本戸正人（松尾）
戸﨑文子（渡瀬口）
武本チカエ（上中）
木原美佐子（麓）
切通サヱノ（渡瀬口）
肱黒政信（江川野）
竹之下敏且（石坂・出水）
西園恒夫（上松）
長野恵子（上竪馬場）
池田鈴子（表郷東）
赤城茂子（太田原住宅）
村原征子（上屋）
先崎一裕（中里）
宮野トミエ（西辺田）
梅島スミ子（政所）
山門テイ（春日町）
山口昭隆（上の原・高尾野）
村井訓子（中央団地）
小野弘（麓）
鍬光携男（六月田中）
池添安夫（柴引）
森田兼夫（春町）
田中幸造（沖田）
湯田建次（西下り松）
清水忠（西水流）
宮田岩彦（表郷東）
花木正規（潟）
境原幸太郎（築港）
吉田豊（沖田）
川畑信悟（鹿島住宅）
豊貴シヅエ（新町）
山下ちづ子（蕨島）

一般寄付

安原子ども会

＝以上市社会福祉協議会へ＝

お誕生、ごめい福、ご寄付欄への掲載に不都合のある方は届け出の際にお知らせいただくか、本庁企画調整課までご連絡ください。

第21回出水ツルマラソン大会

◆平成19年２月11日（日）開催◆

参 加 者 募 集 ！

【参加者】

種　　目　フルマラソン、10キロ、３キロ
スタート　午前９時
参加資格　小学４年生以上の健康な方ならどなたでも参加できます。
参 加 料　一　　般　3,000円
中学・高校生　1,500円
小　学　生　1,000円
応募締切　12月21日（木）　※当日消印有効
※本市ホームページからも申し込みができます。
特　　典　参加者全員に参加賞（特産品等）をプレゼントするほか、抽選で豪華賞品をプレゼントします。

招待選手
早田俊幸さん

大会前日　平成19年２月10日（土）

◎午後３時から市陸上競技場で招待選手の早田俊幸さんによる「ジョギング教室」を開催します。（入場料は無料です。）
◎午後６時30分から出水公会堂で前夜祭（開会式）を開催します。

《前夜祭の内容および参加料》
開会式、アトラクション、抽選会、懇親会等を予定しています。
一　　般　2,000円（飲食代含む）
中学・高校生　1,500円　〃
小　学　生　1,000円　〃

申込・問い合わせ先　出水ツルマラソン大会実行委員会事務局（本庁商工観光課内）（☎㊸4061）

世帯数と人口

（11月１日現在：住民基本台帳）

世帯数	２万4,120（＋ 17）
人口	５万8,288（＋ 40）
男	２万7,311（＋ 34）
女	３万　977（＋ ６）
出生	65
死亡	45
転入	152
転出	132

（　）内は前月比

12月の主な行事

３日（日）▼歳の市野田郷むらまつり（午前９時30分・野田農産加工施設前庭）
▼サンデーサイエンス（午後２時・クレインパークいずみ）10日、17日（同）
17日（日）▼第１回市内地区対抗駅伝競走大会（午前９時・市陸上競技場、市内一円）
▼出水音楽祭（午後１時・市文化会館）
23日（土）▼図書館のつどい（午前10時・市立中央図書館）
24日（日）▼冬の自然まつり「正月を手作りで！」（午前９時・市青年の家）

「出水の野鳥展」開催中!!
平成19年２月25日まで

クレインパークいずみ（☎㊸8915）

休日当番医

１２月　３日
中村（章）医院　内科　㊼１０３３元町（出水）
来仙医院　内・外・児科　㊹２００５田多園
橋口歯科医院　歯科　㊸０５０８（阿久根市）

１２月１０日
広瀬産婦人科医院　産婦科　㊷１５５９春日町
吉井中央病院　内・外科　㊷３１１１東大野原（出水）
福留歯科医院　歯科　㊷０９７８朝日町

１２月１７日
クリニック．なかむら　消化・内・外科　㊷０２４１平良馬場
恒吉医院　消化・内科　㊷００４８大和
塩山歯科医院　歯科　㊷２６３４中町（出水）

１２月２３日
北満病院　循環・内科　㊸２３３３井上
平田整形外科クリニック　整外科　㊷８８０１西町
福原歯科医院　歯科　㊸２５０１上沖田

１２月２４日
白男川クリニック　産・内・児科　㊷０００９広瀬
野田医療センター　内科　㊹２０２３仮屋
太田歯科医院　歯科　㊹４７００仲町（野田）

１２月２９日
せき耳鼻咽喉科クリニック　耳鼻咽喉科　㊹１１８７東大野原（出水）
おかだクリニック　内・消化・放射　㊸７０１１春日町
◎歯科医院は通常どおり

１２月３０日
整形外科ばばぐちクリニック　整外科　㊹８２６０六月田中
しもぞのクリニック　内・胃腸科　㊸８３００石坂（出水）
しお歯科医院　歯科　㊼５８４４米ノ津駅通り

１２月３１日
出水病院　精神・内科　㊷０４１９諏訪馬場
朝倉医院　内・外・児科　㊷００６５大久保
しお歯科医院　歯科　㊼５８４４米ノ津駅通り

※歯科医院診療時間　午前８時～正午
◎変更になることがあります。
出水消防署（☎㊸0119）にお問い合わせください。

ツルの観光シーズン到来！

11月１日、「市ツル観察センター」がオープンしました。

同日は、ツル供養の後、開所式が行われ、関係者や多くの市民でにぎわいました。

開所式では、ミス鶴むすめの交代式があり、第20代ミス鶴むすめが紹介されました（左から岩﨑めぐみさん、沖洲のぞみさん、山口未来さん）。

また、雲海酒造（株）の川越隆憲工場長より、ツルのえさとして小麦10トンの贈呈があったあと、県ツル保護会会長の渋谷市長らとミス鶴むすめが休遊地でえさの小麦をまきました。

クレインパーク 自然だより ⑧

ヒノタニシダを紹介します。昭和13年に本市の樋之谷で発見されたのがその名の由来です。

大きな葉は、長さ1メートルに達し、色は赤褐色または紫褐色を帯びて光沢があります。

クレインパーク撮影

樋之谷から定之段に至る渓谷はシダ植物の宝庫といわれ、ヒノタニリュウビンタイなど珍種も産し、本市一帯には約200種類のシダが繁茂しています。

シダ植物の茎の大部分は地中にあり（地下茎）、そこから葉と根が伸びています。また、花は咲かず、湿った場所を好みます。

『今月の問題』

アイガモ農法で知られるアイガモは、マガモと何の交雑でしょう。

A　カルガモ
B　アヒル
C　マガン

☆答えはホームページか来月号で
（先月号の答えは、**Bのツバメ**でした。）

花とあいさつの学校

米ノ津東小学校は、「花とあいさつでうるおいのある学校」を目指して、基礎学力の定着、心の教育・健康安全教育の充実に努めています。

また、正しい食事の在り方、望ましい食習慣、食事を通した豊かな心の育成を目標に食に関する指導を推進しています。

わたしたちの学舎（まなびや） ⑧

創立53周年
米ノ津東小学校

〈校訓〉
緑と、教師と親の背で育む学校
- 学ぶ子
- はげむ子
- 生きる子

児童数：447人

農業体験

地域の方から借りた畑での芋や大根などの野菜作りを通して、栽培の大変さや働くことの大切さを体験しています。

チャレンジ・ザ・ゲーム大会

高学年の子どもたちが企画・運営し、全校で趣向を凝らしたさまざまなゲーム大会を行います。

交流給食

日ごろお世話になっている業者の方をお招きして、一緒に給食をとりながら、感謝の気持ちを伝えます。

安全パトロール

子どもたちの安全を守るため、保護者や地域の方々にパトロールしてもらい、交通事故や不審者の予防に努めています。

■発行　出水市
■出水市役所（本庁）　■編集　企画部企画調整課
〒899-0292　鹿児島県出水市緑町1番3号
TEL0996-63-2111（代表）　FAX0996-63-0680
高尾野支所　〒899-0492　鹿児島県出水市高尾野町大久保7番地
TEL0996-63-2111（代表）　FAX0996-82-2399
野田支所　〒899-0502　鹿児島県出水市野田町下名7035番地
TEL0996-63-2111（代表）　FAX0996-84-2078
■ホームページアドレス　http://www.city.izumi.kagoshima.jp/
■電子メールアドレス　info_izm@city.izumi.kagoshima.jp
■携帯電話用ページ　http://www.city.izumi.kagoshima.jp/i/
※この広報紙は古紙配合率100%、白色度80%の再生紙を使用しています。